

令和8年度 昭島市立清泉中学校
 数学 年間指導計画・評価規準〔第2学年〕

学期	月	時数	単元名と内容	単元のねらい	観点別評価規準(主たるもの)				
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度		
1 学期	4	9	[式の計算] 1章 文字式を使って説明しよう 1節 式の計算	文字を用いた式の四則計算ができるようになる。	簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。	具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。	文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。		
			2節 文字式の利用	事象のなかに数量関係を見出し、それを文字を用いて式に表し、活用することができるようにする。	文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を変形することができる。	文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		
	5	10	[連立方程式] 2章 方程式を利用して問題を解決しよう 1節 連立方程式とその解き方	連立2元1次方程式を理解し、解くことができるようにする。	2元1次方程式とその解の意味を理解している。 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。	1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。	連立2元1次方程式の必要性和意味を考えようとしている。		
			2節 連立方程式の利用	連立方程式を用いて、文章題を解くことができるようにする。	簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。	連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。	連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。		
	6	6	7						
2 学期	9	8	[1次関数] 3章 関数を利用して問題を解決しよう 1節 1次関数	1次関数について理解するとともに、関数関係を表現し、考察できるようにする。	1次関数について理解している。	1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。	1次関数の必要性和意味を考えようとしている。		
			2節 1次関数の性質と調べ方	1次関数 $y=ax+b$ では、変化の割合は一定で、 a に等しいことを理解する。	事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知っている。	1次関数の値の変化の特徴を見だし、説明することができる。	1次関数の値の変化の特徴を捉えようとしている。		
	10	4	4	4節 1次関数の利用	2元1次方程式と1次関数は同じ関数を表していることを理解できるようにする。	2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解している。	1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	2元1次方程式や連立方程式の解の意味を、グラフを用いて捉えようとしている。	
					具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、そのグラフを利用して問題を解決することができる。	1次関数の関係を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。	1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	1次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	11	3	5	[平行と合同] 4章 図形の性質の調べ方を考えよう 1節 説明のしくみ	多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。	多角形の内角の和の求め方を説明することができる。	多角形の角についての性質の説明でもとにしていることを考えようとしている。	
				2節 平行線と角	基本的な平面図形の性質を見出し、確かめることができるようにする。	平行線や角の性質を理解している。	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ、説明することができる。	証明の必要性和意味を考えようとしている。	
	12	6	8	3節 合同な図形	合同な図形の意味や性質を理解する。	平面図形の合同の意味と表し方を理解している。 合同な図形の性質を理解している。	合同な図形についての条件を説明することができる。	平面図形の合同の意味を考えようとしている。	
				[三角形と四角形] 5章 図形の性質を見つけて証明しよう 1節 三角形	定義、定理の意味を理解する。	三角形の合同条件を理解している。	三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考え、説明することができる。	三角形の合同条件を、三角形の決定条件をもとにして考えようとしている。	
	3 学期	1	10	6	2節 平行四辺形	平行四辺形の性質や条件を確かめ、証明に用いることができるようにする。	正方形、ひし形、長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。	平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。	平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
					[確率] 6章 起こりやすさをとらえて説明しよう 1節 確率	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解する。	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解している。	同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。	場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
2		4	4	2節 確率による説明	起こりやすさを、樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。	簡単な場合について確率を求めることができる。	確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。	確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
				[データの比較] 7章 データを比較して判断しよう 1節 四分位範囲と箱ひげ図	箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。また、箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。	四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。	四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を考えようとしている。 データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	
3		7	まとめ	学習内容の定着を図るための補充的学習。					
合計	105			評価方法	定期テスト、単元テスト(中テスト)、小テスト	定期テスト、単元テスト(中テスト)、小テスト	単元振り返りシート、課題の取り組み、レポート等		